

フロントエンド基礎 #3

Tomoyuki Takata@DeNA

勉強会の目的

開発メンバー全員がフロントエンドに対する意識を高め、 結果それがプロダクトの品質を向上させる

勉強会の流れ

- 1.ブラウザの仕組み、レンダリングの仕組み
- 2.chrome dev toolsの使い方
- 3.pure javascript
- 4.pure javascript2
- 5.css設計 SMACSS
- 6.パフォーマンスチューニング

勉強会の流れ

- 1.ブラウザの仕組み、レンダリングの仕組み
- 2.chrome dev toolsの使い方
- 3.pure javascript
- 4.pure javascript2
- 5.css設計 SMACSS
- 6.パフォーマンスチューニング

javascriptを使ってみよう!

- 1.クライアントサイド/サーバーサイドどちらでも動く言語
- 2.変数に型がない
 - => 正確にはある(プリミティブ型+オブジェクト型)が他の言語ほど厳しい制約はない。
- 3.同時に処理されるコードは常に1つ
 - => シングルスレッド
- 4.プロトタイプ指向
- 5. 関数はデータ (オブジェクト) として扱う

backbone.js、angular.js、そして最近ではreact.jsと javascript界隈のトレンドの移り変わりはすさまじいものがあります。 これらのフレームワークは非常に便利なものですが、まずは基本の基本 をしっかり押さえた上で利用しましょう!

変数とは?

変数とは、数値や文字を格納する「箱」のようなもの。 変数名とは、箱につけられた名前であり箱のなかに入ったデータを 取り出したり入れ直したりするときに利用する。

変数の宣言

var 変数名 = 値;

関数とは?

関数とは、プログラムが格納された「箱」のようなもの。 プログラムとは定められた一連の処理を実行するものであり、 プログラムが動くだけの関数もあれば、 プログラムが動いて結果を返す関数もある。

関数の定義

var 関数名 = function(){}

function 関数名(){}

関数の実行

関数名(引数);

関数名.call(scope,引数)

関数名.apply(scope,[引数])

実践1

足し算をして結果を返す関数を作ってみよう

> http://codepen.io/pen/

javascriptの型

- · undefined
- · number
- · boolean
- · string
- · null
- object

javascriptの型

- ・undefined 未定義型 "何のデータも定義されていない状態"を指す
- ·number
- · boolean
- · string
- · null
- object

javascriptの型

- ・undefined 未定義型 "何のデータも定義されていない状態"を指す
- ・number 数値型 正負の数値や小数も統一して扱える
- · boolean
- · string
- · null
- object

javascriptの型

- ・undefined 未定義型 "何のデータも定義されていない状態"を指す
- ・number 数値型 正負の数値や小数も統一して扱える
- ・boolean **真偽値型** 「真(true)」と「偽(false)」の論理値
- · string
- · null
- object

javascriptの型

- ・undefined 未定義型 "何のデータも定義されていない状態"を指す
- ・number 数値型 正負の数値や小数も統一して扱える
- boolean
 真偽値型
 「真(true)」と「偽(false)」の論理値
- ・string **文字列型** 名前の通り文字列を扱う
- · null
- object

javascriptの型

・undefined 未定義型 "何のデータも定義されていない状態"を指す

・number 数値型 正負の数値や小数も統一して扱える

boolean
 真偽値型
 「真(true)」と「偽(false)」の論理値

・string 文字列型 名前の通り文字列を扱う

・null Null型 "何のデータもない状態"を指す

· object

javascriptの型

・undefined 未定義型 "何のデータも定義されていない状態"を指す

・number 数値型 正負の数値や小数も統一して扱える

boolean
 真偽値型
 真(true)」と「偽(false)」の論理値

・string 文字列型 名前の通り文字列を扱う

• null Null型 "何のデータもない状態"を指す

・ **object** オブジェクト型 JavaScript中ではすべてのオブジェクトはこの型の機能を受け継いでいる(Array,Function など)

オブジェクト型ってなに

キー(名前)と値のセットを複数持ったもの。 連想配列とかハッシュみたいなもの。

オブジェクト型ってなに

var object = {}; 空のオブジェクトを定義

オブジェクト型ってなに

```
var object = {};
```

```
object = {test1 : 1, test2 : 2, test3 : 3};
```

オブジェクト型ってなに

var object = {};

object = {test1 : 1, test2 : 2, test3 : 3};

キー (文字列) 値 (どんな型でもおk)

オブジェクト型ってなに

```
var object = {};
```

```
object = {test1 : 1 | test2 : 2 | test3 : 3 ...};
```

キーと値のセットを複数個もつ

オブジェクト型ってなに

var object = {};

object = {test1: "あいうえお", test2: 2, test3: 3};

値は文字列だってOKだし

オブジェクト型ってなに

var object = {};

object = {test1 :undefined, test2 : 2, test3 : 3};

未定義値だってOKだし

オブジェクト型ってなに

var object = {};

object = {test1 : { test4: 5, test6: 7 }, test2 : 2, test3 : 3}

オブジェクトだってOKだし

オブジェクト型ってなに

var object = {};

object = {test1 :[1,2,3,4], test2 : 2, test3 : 3};

配列だってOKだし

オブジェクト型ってなに

var object = {};

object = {test1 :function(){}, test2 : 2, test3 : 3};

関数だってOK

オブジェクト型から値を取り出そう

var object = {test1 :1, test2 : 2, test3 : 3};

オブジェクト型から値を取り出そう

var object = {test1 :1, test2 : 2, test3 : 3};

test1の値が欲しい場合は

object.test1
object['test1']

のどちらかで取得できる

オブジェクト型に値を追加しよう

var object = {test1 :1, test2 : 2, test3 : 3};

オブジェクト型に値を追加しよう

var object = {test1 :1, test2 : 2, test3 : 3};

test4の値を追加したい場合は

object.test4 = 4 object['test4'] = 4

のどちらかで追加できる

実践2

以下のキーと値をもったオブジェクトを作ってみよう

キー	値
prop1	あいうえお
prop2	123
prop3	null

> http://codepen.io/pen/

javascriptを使えば、DOMをプログラムで操作することが可能。 ここではDOMエレメントの取得、追加、削除をやってみる。

要素を取得してみよう

<div>あいうえお</div>

要素を取得してみよう

<div id="test">あいうえお</div>
jsで操作するために識別子 (id) を振ります

要素を取得してみよう

<div id="test">あいうえお</div>

getElementByldで取得

var elem = document.getElementByld("test");

要素の中身を変更してみよう

<div id="test">あいうえお</div>

var elem = document.getElementByld("test");

innerHTMLプロパティで書き換え elem.innerHTML = "かきくけこ";

要素を追加してみよう

<div>あいうえお</div>

要素を追加してみよう

<div id="test">あいうえお</div>
jsで操作するために識別子 (id) を振ります

要素を追加してみよう

<div id="test">あいうえお</div>

追加するDOMを生成します var childElem = document.createElement("div");

要素を追加してみよう

<div id="test">あいうえお</div>

追加するDOMを生成します var childElem = document.createElement("div");

追加するDOMの中にテキストをいれてみます childElem.innerHTML = "追加するノードです";

要素を追加してみよう

<div id="test">あいうえお</div>

追加するDOMを生成します var childElem = document.createElement("div");

追加するDOMの中にテキストをいれてみます childElem.innerHTML = "追加するノードです";

DOMを挿入します

document.getElementByld("test").appendChild(childElem);

要素を削除してみよう

```
<div id="test">あいうえお
<div>追加するノードです</div>
</div>
```

DOMを削除します

document.getElementByld("test").removeChild(childElem);

実践3

DOMを操作してみよう

> http://codepen.io/anon/pen/PwvpLM

ユーザーのアクションやページの読み込みや通信処理など、 ブラウザ上で起こるあらゆるイベントについて処理を行うのが JavaScriptの特徴。

このようなイベントを中心としたプログラミングを **イベントドリブン(イベント駆動型)プログラミング**と呼ぶ。

addEventListenerを理解しよう

addEventListenerを理解しよう

window.addEventListener('load',関数,false);

addEventListenerを理解しよう

window.addEventListener('load',関数,false);

監視しているオブジェクト=イベントターゲット

addEventListenerを理解しよう

window.addEventListener('load',関数,false); 監視しているイベント

addEventListenerを理解しよう

window.addEventListener('load', 関数, false);

監視しているイベントが起こったときに 呼ばれる関数=イベントリスナー

addEventListenerを理解しよう

window.addEventListener('load',関数,false);

ページが完全に読み込まれた時に関数を実行しなさい

*IE9より前の Internet Explorerでは標準の addEventListener ではなくattachEvent を使わなければならない

様々なイベント

element.addEventListener("mouseover",関数,false);

element.addEventListener("click", 関数,false);

element.addEventListener("touchstart", 関数,false);

様々なイベント

element.addEventListener("mouseover",関数,false); => 要素の上にマウスが乗った際に呼ばれる element.addEventListener("click", 関数,false);

element.addEventListener("touchstart", 関数,false);

様々なイベント

element.addEventListener("mouseover",関数,false);

- => 要素の上にマウスが乗った際に呼ばれる
- element.addEventListener("click", 関数,false);
- => 要素がクリックされた際に呼ばれる
- element.addEventListener("touchstart", 関数,false);

様々なイベント

- element.addEventListener("mouseover",関数,false);
- => 要素の上にマウスが乗った際に呼ばれる
- element.addEventListener("click", 関数,false);
- => 要素がクリックされた際に呼ばれる
- element.addEventListener("touchstart", 関数,false);
- => 要素に指が乗った際に呼ばれる(モバイル)

実践4

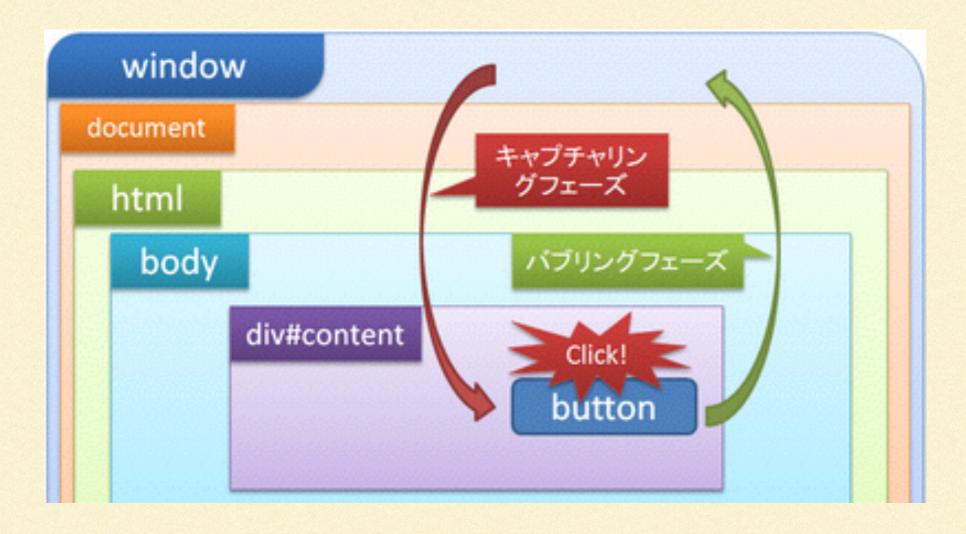
要素をクリックしてアラートを出してみよう

つ http://codepen.io/anon/pen/dPEvze

addEventListenerを理解しよう

window.addEventListener('load',関数 false); そういえばこの引数はなに?

addEventListenerを理解しよう



useCapture をfalse

次回へ続く